

【基本構想策定時にいただいていたご意見に対する本市の考え方について】

令和5年度の基本構想策定時に実施した、意見募集及び意見交換会でいただいたご意見のうち「参考」としていたものについて、事業計画の策定にあたり、本市の考え方を整理したものを掲載します。

※一部のご意見、ご意見の受け止めについては、抜粋、及び要約を行っています。

※通し番号は新たに付与しており、基本構想時のNo.とは一致していません。

項目 1. 意見募集でいただいていたご意見		
No.	ご意見	本市の考え方
1	P.5 の東側敷地を総合的な利活用を検討するとの事ですが、具体的な検討内容の意見を求めないのでしょうか？	東側敷地の校舎については、老朽化が進んでいるため解体します。（事業計画P.4「1.5 計画敷地」、P.37「5.1.1 配置計画検討」に解体する旨記載） また、施設の付加価値の創出に寄与する提案があれば、将来的な利活用に支障がない範囲での活用を考えています。
2	P.9-10、民間機能について 民間事業者との連携によるサービス提供について、考え方に賛同ですが、複合施設コンセプトへの合致性だけでなく長く事業継続してもらえる内容・相手か、といった点も考慮頂ければと思います。公共施設内での事業活動が『利益が上がらないので早々に撤退』は「廃れた感」が出て施設そのものに対する印象が非常に悪化し利用率などに悪影響を出すことが懸念させるためです。	民間施設に入る市民サービスについては、質を維持し途切れる事がない様に、横浜市がその対価を負担します。 また、民設民営を想定している学校プールについては、事業者へ運営方法などについてヒアリングを実施したうえで、発注条件を検討していきます。
3	P.14 2.3 各施設の基本的な機能・目的等 鶴見図書館「子ども・子育て世代、高齢者の方、障害のある方など、多様な利用者のニーズに応えることができ、滞在したくなるような居心地のよい空間を提供します。」について、昼寝や休憩目的や犯罪目的での図書館の利用者は、排除して欲しい。	安心して施設をご利用いただけるよう、警備方法等について、いただいたご意見を参考に、発注条件を検討します。
4	P.13 図書館について 鶴見区図書館を利用させて頂いてる者として、図書館の拡充を期待して意見を述べます。 1. 鶴見区図書館の現状から改善すべき2つの基本課題（1 今回の素案に肝心の「整備後の延床面積」が表示されていません。整備方針に「単館で建て替えた場合に比べて面積を縮小」と記載されています。まさか、現状を削減する考えはないと思いますが、明示されない現状ではとても「先進事例となるよう検討」にはならないのでは不安におもいます。 ・横浜市の図書館の未来像を実現す	新たな鶴見図書館の床面積については、事業計画P.12「3.1 施設の概要」の中で、現在の1,500㎡から5,000㎡とすることとしています。 引き続き、住民・利用者みなさまのご意見をお伺いしながら、多くのみなさまにご利用いただける図書館となるよう努めてまいります。

<p>4 の 続 き</p>	<p>る初のプロジェクトになる「事業計画案」策定されることを強く要望します。</p> <p>2. 超高齢社会における図書館機能拡充の提案 今後も増大する高齢者大集団の知恵と力を、地域社会にどう発揮していただくかは、高齢者自身の生きがいになると同時に、地域力を育む大きな力になると考えます。 高齢者の潜在力を開発・発揮する鍵を握るのが図書館ではないでしょうか。それに貢献できる機能拡充の記載を求めます。</p> <p>3. 「図書館運営への住民・利用者参画の仕組み」構築の提案 図書館は、地域住民のための施設です。・その充実・発展へ住民も図書館運営への1員としてその責任を果たしたいと考えます。参画の場を作って頂きたい。</p>	
<p>5</p>	<p>P.18 IC タグなど、デジタルインフラの導入について、市での検討状況を踏まえ、必要な機器を適切な場所に配置します。本の貸出だけでなく、そもそも入館時にカードを読み取って入れるようにしたほうがセキュリティはよいのではないかと。</p> <p>現在の鶴見図書館は2階が子ども向け、3階が大人向け。3階はほとんど成人男性が席を埋めており、女性は利用しづらい。経済的な事情で図書館に来ているようであれば生活の支援へつなぐ役割も含めてほしい。</p> <p>P.24 複合施設の配置の検討</p> <p>駅からの利用者の動線を考えるとパターン③がよいように思われるが 子どもたちのプライバシー（不審者対策）を考えるとパターン②がよいように思われる。（図書館や鶴見区民活動センターは不特定多数の人が利用するため注意が必要だと思う。）</p>	<p>IC タグの設置機器の配置及びセキュリティ、施設間の連携がしやすい動線の確保についてはご意見を参考に、発注条件を検討します。</p> <p>加えて、すべての年代の皆様が、目的や活動によって空間を選択できるよう、諸室配置や動線の確保に努めてまいります。</p> <p>また、配置パターンについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の工事期間中、仮設校舎の設置がなく、学校運営への影響が少ないこと ・施工ステップにおいて、早期に新校舎の使用が可能であること ・工事期間中も、地域防災拠点機能（小学校体育館など）を維持することができることから、パターン①を想定の配置計画としています。
<p>6</p>	<p>P.24 のパターンについて</p> <p>パターン①もしくはパターン③を希望致します。</p> <p>理由</p> <p>鶴見図書館の利用を考えた際、鶴見駅からのアプローチを考え、駅に近い配置がいいかと思う為</p>	<p>配置パターンについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の工事期間中、仮設校舎の設置がなく、学校運営への影響が少ないこと ・施工ステップにおいて、早期に新校舎の使用が可能であること ・工事期間中も、地域防災拠点機能（小学校体育館など）を維持することができることから、パターン①で検討を進めています。

7	<p>小学校 配置等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン 3 が良いと考えます。理由は温暖化の進行で日陰が重要だからです。 	<p>配置パターンについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の工事期間中、仮設校舎の設置がなく、学校運営への影響が少ないこと ・施工ステップにおいて、早期に新校舎の使用が可能であること ・工事期間中も、地域防災拠点機能（小学校体育館など）を維持することができることから、パターン①で検討を進めています。
8	<p>その他 環境面など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観の制限、特に色 ・無電柱化 ・広い歩道 ・多様な植樹、街路樹 ・近隣の工場等の排熱を利用した空調 ・電話基地局の設置（屋上） ・屋上緑化 	<p>歩道に関しては、計画敷地（西側）の東側・南側道路に面する部分について、敷地内歩道の整備を検討しています。</p> <p>景観や植栽計画については、いただいたご意見を参考に、発注条件を検討します。</p>
9	<p>①図書館は図書館法に基づいて自治体が設置するものです。建物の建設計画にPFIの手法を用い民間の資金を活用するのはかまいませんが、実際の図書館の運営を指定管理会社に委ねるのは図書館を変質させるものです。他の事例でも10年以上経って、サービスは低下し、運営経費はアップすることがいくつか実証されています。一番問題なのは自治体が図書館のノウハウの運営を失うことが大きな問題であり。また、指定管理は5年ごとに変わることも予想され、職員は非常勤が90%、短期雇用の傾向もあり、専門職の職場はそのノウハウが安定して蓄積されません。図書館法は運営については自治体が責任を持つことを想定していません。図書館法は変わっておりません。図書館法に指定管理の運営を認める法律の変更がなされない限り、本来はできないはずです。PFIの手法を用いても運営を認める法律の変更がなされない限り、本来はできないはずです。PFIの手法を用いても運営は直営が筋です。衆参国会に議論でも指定管理は図書館になじまないとなりました。文科省の指定管理に対する解釈は間違っています。総務大臣も疑義を出した</p> <p>②鶴見図書館は規模が小さ過ぎです。現行の倍の3,000㎡は必要です。図書館全体の計画でも1区1館では指定都市の図書館で数の少なさが際だって</p>	<p>横浜市立図書館では、司書職員が市民の課題解決の推進や学校・地域連携などの業務をさらに進めることができるよう、一部の地域図書館で貸出返却などの定型的な作業に民間窓口業務委託を導入しています。</p> <p>移転後の鶴見図書館では図書館の運営のうち、選書・レファレンス等の業務は市職員による運営を想定しています。</p> <p>また、面積については、現在の1,500㎡から5,000㎡とし、蔵書は現在の11万冊から20万冊程度へ充実することを目指しています。</p>

9 の 続 き	<p>います。20万9千人に1館だけです。指定都市の平均は9,7千人に1館です。蔵書率は1人当たり1.1冊。指定都市の平均は1.7冊です。資料費も79.5円。平均は106.7円で最低クラスです。各区の図書館の規模も小さく、大都市横浜にしては文化度の低さがっかりです。1区2館を計画してください。大方の市民の意見はすくな過ぎとします</p>	
10	<p>P. 26 事業手法について わかりやすい資料提示と説明の機会を求めます。事業手法は、質を決める重要な課題を考えます。 ・各方式のメリットとデメリットを明確にした資料を市民に示し、決定する前に市民へ説明と意見を聞く機会を作って頂きたいと要望します</p>	<p>事業手法については、整備手法の検討として、事業計画P. 44「表2. 想定整備手法比較検討」の表に、メリット・デメリットをまとめ記載しました。 また、事業計画を策定するにあたり、事業計画（素案）に対する意見交換会及び意見募集を行いました。</p>
11	<p>P. 27 主な事業手法 説明からメリット・デメリットがわからないのですが民間企業への協力を求めるならば利益が出ないと退去してしまうため、商業施設に成功実績があるところに発注するのは手ではないかと思いません。</p>	<p>事業手法については、整備手法の検討として、事業計画P. 44「表2. 想定整備手法比較検討」の表に、メリット・デメリットをまとめ記載しました。 また、市民サービスにつきましては、質を維持し途切れる事がない様に、横浜市がその対価を負担します。 民設民営を想定している学校プールについては、事業者へ運営方法などについてヒアリングを実施したうえで、発注条件を検討していきます。</p>
12	<p>とても狭い場所で、工事する事になるので、事故が起きるのではと危惧しております。通学路に工事車両が入ってくることになるので、子供のストレスも大きいと思います。また、工事中の埃などを子供達が吸う事により、健康被害が出るのではと危惧しております。しばらくグラウンドが使用できなくなるのでは、とも危惧しております。</p>	<p>工事でグラウンドが使用できない期間については、体育館の利用を基本としながら、校庭の代替として近隣の公園グラウンドが利用できるよう調整を進めています。</p>
13	<p>P. 39 オ) 鶴見図書館「鶴見図書館の蔵書数は、一般書 73,166冊、児童書 35,526冊、総数 108,692冊となっています（令和4年度）。鶴見区は市内で3番目に人口が多い区ですが、他の地域図書館の蔵書数と比べると、蔵書数は下から2番目に少ない図書館となっています。」について、一般図書館と子供図書館は分離して、それぞれの面積と蔵書を増やすべきと思います。</p>	<p>移転後の鶴見図書館の面積については、現在の1,500㎡から5,000㎡とし、蔵書は現在の11万冊から20万冊程度へ充実することを目指しています。</p>

14	<p>P. 29 イ)豊岡地区</p> <p>鶴見在住歴が長い者からすると、現在はずいぶんきれいな街になったと思いますが、魅力的かと言われると川崎には負けてしまうと思います。川崎駅と鶴見駅を比較して感じたことは、大型ショッピングセンターや映画館の有無もありますが、東口・西口ともに駅前の目立つところにパチンコ屋があるため、街の雰囲気が「きれい・おしゃれ・安心」とは言いづらいこともあると思います。川崎駅周辺もパチンコ屋は存在していますが、ラゾーナ川崎に向かう限りはまったく目に入りませんし、反対方面も5分ほど歩かなければ目に入らない印象です。地域活性化を狙って建設するのであれば街の景観も工夫し、きれいさや、統一感が出せるともっとよいのではと思いました。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、事業計画 P. 9～「2.1.4 複合施設の基本的な考え方 4) ランドマークとしての役割」を加えました。</p>
15	<p>複合施設にすることは、行事への参加の際や施設の利用など相乗効果が考えられますが、それぞれの必要な機能に支障がないように配慮して進めることを強く要望します。</p>	<p>複合化により施設の共有化や機能連携による、施設全体の効率的な整備を目指しています。</p> <p>すべての年代の皆さまが、目的や活動によって空間を選択できるような配置やゾーニングを検討しています。</p>
16	<p>横浜市で初めての図書館を含む合築だが、図書館は年々蔵書を増やし利用を増やして成長していくものなので、十分な面積と予算が必要である。その点、他の施設と大きく異なることを認識して計画してほしい。外国につながる子どもたちへのサービスなど専門的知見が必要とされる局面が多いため、司書の配置を手厚くしてほしい。</p> <p>建物の設計にあたっては、特に「音」の管理面で困難が予想される。図書館は多様な利用形態が可能になるよう「にぎわい」だけでなく大人へのサービスにも配慮してほしい。</p>	<p>移転後の鶴見図書館の面積については、現在の1,500㎡から5,000㎡とし、蔵書は現在の11万冊から20万冊程度へ充実することを目指しています。</p> <p>司書の配置については、行政と民間事業者が連携・協力してサービス向上に取り組めるよう、適切な配置に努めてまいります。</p> <p>図書館における音の管理については、すべての年代の皆様が、目的や活動によって空間を選択できるような諸室配置やゾーニングに配慮します。</p> <p>いただいたご意見を参考に、発注条件を検討します。</p>
17	<p>水害対策</p> <p>内水発生予測地域でしょうか？（質問）</p> <p>であればグラウンド下に雨水貯蓄施設を広く作ってほしい。</p>	<p>豊岡小学校敷地は、内水浸水想定区域です（最大0.2m未満）が、現在想定している計画では、雨水貯留施設の設置は必須ではありません。</p>

項目 2. 意見交換会でいただいていたご意見		
No.	ご意見の受け止め	本市の考え方
18	複合施設に全て詰め込もうとせず、社協運営の施設等の地域資源の活用も考えることで、児童に必要な機能を優先して欲しい。	いただいたご意見を参考に、事業計画 P. 9～「2. 1. 4 複合施設の基本的な考え方 1) 教育・保育環境の向上」を加えました。 また、小学校や図書館等が連携することにより、これまでの公共施設の枠組みを超えて、新たな活動や学び、出会いを創造できるよう目指していきます。
19	繋がり・居場所の定義やイメージが分かりにくいので、どのように具体化するのかが気になる。	具体化についてですが、例えば事業計画 P. 17「3. 3. 3 ゾーニング・ダイヤグラム」に、施設の空間構成と連携のイメージを示した図を掲載しています。 この中では、「交わる・活動する」ための施設の例として、多目的スペースやラーニングコモンズを置くなど、配置やゾーニングの考え方をお示ししています。
20	高層階では学習環境や安全性が気になるので、何階建てになるか知りたい。	豊岡小学校の敷地には、最大で8階建て程度の建物の建設が可能です。 事業計画 P. 38「5. 1. 3 詳細の配置条件」に小学校などの配置条件を加えました。
21	より多くの蔵書に触れたいが、図書館の規模拡大について検討されていないのではないかと心配している。	移転後の鶴見図書館の面積については、現在の1,500㎡から5,000㎡とし、蔵書は現在の11万冊から20万冊程度へ充実することを目指しています。
22	専門的な資格をもった司書が子どもに対して対応できると良いと思うが、この図書館には司書が配置されるのかが気になる。	移転後の鶴見図書館では図書館の運営のうち、選書・レファレンス等の業務は引き続き司書（市職員）による運営を想定しています。
23	図書館にカフェがあると蔵書の破損が懸念されるので、しっかり管理してほしい。	書館、区民活動センター、地域子育て支援拠点を複合化した市民利用施設には、滞在したくなる、居心地の良い空間づくりのため、カフェなどの飲食可能なスペースを設置予定です。蔵書は適切に管理してまいります。
24	利用者のニーズを踏まえた方が良いと思うので、学生にどんな学校が理想かを問うてみるのはいかがでしょうか。	設計を進める段階で、豊岡小学校に通う子供たちにご意見を伺う場を設ける予定です。
25	実際に子どもたちにどう感じているかどうしてもらいたいか聞いて取り入れると良いと思う。	設計を進める段階で、豊岡小学校に通う子供たちにご意見を伺う場を設ける予定です。

26	実際に小学校や保育園を使うことになるであろう若い当事者の意見ももっと取り入れられると良い。	8月・9月に実施した意見交換会や保護者説明会等にお越しいただけなかったみなさまに向けて、保護者説明会での資料を動画として市ホームページで公表し、周知を図っています。 (保護者説明会の資料 https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/toyooka/toyookadouga.html)
27	意見交換会で出た意見がどう盛り込まれたのか QA を公開する等、検討のプロセスがわかると納得しやすい。	いただいたご意見と本市としての考え方、検討状況等をまとめ、ホームページやニュースレターの配布等により周知を図っています。この度、事業計画の公表に合わせ、基本構想素案策定時にいただいたご意見等への対応状況をお示しすることとしました。
28	事業計画で具体化すると思うので、その段階でも意見交換したい。	事業計画を策定するにあたり、素案の公表時に意見交換会及び意見募集を行いました。
29	具体化しにくい段階だが、コンセプトをどう具現化していくのか示してもらえると嬉しい。	いただいたご意見を参考に、事業計画 P.9～「2.1.4 複合施設の基本的な考え方」にまとめました。
30	計画が決まった後で反対が出されるのではないかと心配なので、予め意見を取り入れて計画を検討してほしい。	事業計画を策定させるにあたり、素案を作成し意見交換会等でご意見をいただきました。